

令和2年9月定例県議会 代表質問・一般質問時間割

※ 網掛は教育委員会への質問なし

■ 9月9日(水)

代表質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	自由民主党	二見 康之	10:00~12:00	休憩
2	自由民主党	山下 博三	13:00~15:00	

■ 9月11日(金)

一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	県民連合宮崎	岩切 達哉	10:00~11:00	
2	自由民主党	右松 隆央	11:00~12:00	休憩
3	自由民主党	佐藤 雅洋	13:00~14:00	
4	自由民主党	窪 園 辰也	14:00~15:00	

■ 9月10日(木)

代表質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	県民連合宮崎	渡辺 創	10:00~11:40	休憩
2	公明党	河野 哲也	13:00~14:10	

■ 9月14日(月)

一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	県民連合宮崎	太田 清海	10:00~11:00	
2	自由民主党	日高 陽一	11:00~12:00	休憩
3	公明党	重松 幸次郎	13:00~14:00	
4	自由民主党	外山 衛	14:00~15:00	

■ 9月15日(火)

一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	自由民主党	日高 利夫	10:00~11:00	
2	自由民主党	中野 一則	11:00~12:00	休憩
3	日本共産党	来住 一人	13:00~14:00	
4	自由民主党	井本 英雄	14:00~15:00	

## 令和2年度定例県議会における本会議答弁件数

	6月		9月		11月		2月		計	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
教育政策課	1	3	0	3	1		1		3	
財務福利課	4	2	2	0	3		2		11	
高校教育課	14	28	11	13	13		13		51	
義務教育課	6	26	11	14	3		14		34	
特別支援教育課	1	6	8	5	5		0		14	
教職員課	4	10	9	4	10		22		45	
生涯学習課	0	2	0	0	3		1		4	
スポーツ振興課	7	14	5	7	6		8		26	
文化財課	3	1	0	1	1		3		7	
人権同和教育課	11	6	7	3	1		11		30	
計	51	80 (実答弁数)	53	42 (実答弁数)	46		71 (実答弁数)		221 (実答弁数)	

※ 計に(実答弁数)と記載してある議会は、1つの答弁を複数の課で担当したものがあつたため、各課室の合計と計(実答弁数)が一致しない。

■ 令和2年9月議会 質問の概要 ■					
NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課室
1	新型コロナウイルス感染症対策	二見 康之	自由民主党	学校における新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、どのように行っているのか伺いたい。	スポーツ振興課
2	新型コロナウイルス感染症対策	二見 康之	自由民主党	罹患した児童生徒等が、治癒後、安心して学校に登校できるための取組について伺いたい。	人権同和教育課
3	国民スポーツ大会	二見 康之	自由民主党	国民スポーツ大会の開催時期が1年延期になった場合の選手強化への影響について伺いたい。	スポーツ振興課
4	国民スポーツ大会	二見 康之	自由民主党	未普及競技の選手育成の状況について伺いたい。	スポーツ振興課
5	I C T活用	二見 康之	自由民主党	県内の市町村立小・中学校と県立学校について、I C T環境の整備は、今年度、どこまで進むのか伺いたい。	高校教育課 義務教育課
6	I C T活用	二見 康之	自由民主党	I C Tを活用した教育を推進しているが、これを学力向上にどうつなげていくのか伺いたい。	高校教育課 義務教育課
7	修学旅行	二見 康之	自由民主党	今年度の市町村立小中学校及び県立高校における修学旅行の検討状況について伺いたい。	高校教育課 義務教育課
8	修学旅行	二見 康之	自由民主党	市町村立小中学校の県内修学旅行の実施にあたって、県教育委員会の取組について伺いたい。	義務教育課
9	修学旅行	二見 康之	自由民主党	県外で修学旅行を実施した場合、実施後、県内での新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ必要があると思うが、その対応についての考えを伺いたい。	高校教育課
10	安全	山下 博三	自由民主党	交通事故を減らすためには幼少期からの啓発が必要だと思うが、教育長の考えを伺いたい。	人権同和教育課
11	入試	渡辺 創	県民連合宮崎	新型コロナウイルス感染症による学校休業期間を受け、県は今年度実施する県立高校入試の出題範囲を検討するとのことであったが、結論の見通しはどうか伺いたい。	高校教育課
12	特別支援：通学	渡辺 創	県民連合宮崎	県央部から聴覚障がい特別支援学校に通学する子供の人数は何人か、また、通えない子供にどのような支援や対応を実施しているのか伺いたい。	特別支援教育課
13	特別支援	渡辺 創	県民連合宮崎	県央部における聴覚障がいに対応する特別支援学校の必要性と課題をどのように考えているのか伺いたい。	特別支援教育課
14	定時制・通信制	渡辺 創	県民連合宮崎	定時制高校には、新型コロナウイルス感染症により就労環境が悪化したり、不安定化している生徒も少なくないと考え、状況をどのように認識しているのか伺いたい。	高校教育課
15	定時制・通信制	渡辺 創	県民連合宮崎	熊本県では独自に支援策に取り組むようだが、本県における支援策の必要性について伺いたい。	高校教育課
16	外部人材活用	河野 哲也	公明党	学校教育における、社会保険労務士の活用可能性について伺いたい。	高校教育課
17	新型コロナウイルス感染症対策	河野 哲也	公明党	市町村立小中学校及び県立学校の夏休みの短縮の状況について伺いたい。	高校教育課 義務教育課 特別支援教育課
18	新型コロナウイルス感染症対策	河野 哲也	公明党	例年とは異なる夏休み明けにおいて、子どもが安心・安全な生活を送るために、学校ではどのような配慮が行われているのか伺いたい。	義務教育課
19	特別支援	岩切 達哉	県民連合宮崎	特別支援学級担任及び通常の学級担任の臨時任用講師の割合について伺いたい。また、特別支援学級を担当している臨時任用講師の特別支援学校教諭免許状の保有率について伺いたい。	教職員課
20	特別支援	岩切 達哉	県民連合宮崎	特別支援教育コーディネーターなどの配置による特別支援学級への支援について伺いたい。	特別支援教育課
21	障がい者雇用	岩切 達哉	県民連合宮崎	県教育委員会における法定雇用率の達成に向けた障がい者雇用の取組について伺いたい。	教職員課
22	オンライン学習	右松 隆央	自由民主党	コロナでの休校中において、本県の小中学校でのオンライン指導はどのような状況であったのか。また、家庭ではどういった状況が見られたのか伺いたい。	義務教育課
23	G I G Aスクール構想	右松 隆央	自由民主党	G I G Aスクール構想に基づき、小中高等学校においてタブレット端末をどのような計画で整備し、また、家庭でのネット環境が十分でない児童生徒にはどのような対応をしていくのか伺いたい。	義務教育課
24	G I G Aスクール構想	右松 隆央	自由民主党	Society5.0に向けた人材育成が重要となる中、未来型教育を実現していくために、クラウド活用やビッグデータの分析などA Iを活用した児童生徒の「個別最適化学習」に今後どのように取り組んでいくか考えてあるか伺いたい。	義務教育課
25	神楽のユネスコ無形文化遺産登録	佐藤 雅洋	自由民主党	神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向け、現状と今後の取組について伺いたい。	文化財課
26	県内就職	窪徳 辰也	自由民主党	新型コロナウイルス感染症の拡大により、高校生の県内就職活動は、どのような影響を受けているのか伺いたい。	高校教育課
27	新型コロナウイルス感染症対策	窪徳 辰也	自由民主党	高校総体等の代替大会において、新型コロナウイルス感染防止対策にどのように取り組んだのか伺いたい。	スポーツ振興課
28	特別支援	日高 陽一	自由民主党	通常の学級で発達障がいのある子どもを指導する教員に対して、どのような支援を行っているのか伺いたい。	特別支援教育課
29	県内就職	重松 幸次郎	公明党	高校生の県内就職の促進に向けた取組について伺いたい。	高校教育課
30	スポーツ振興：競技力向上	重松 幸次郎	公明党	ドーピング防止に向けて、県教育委員会では、どのような取組を行っているのか伺いたい。	スポーツ振興課
31	学校環境衛生活動	重松 幸次郎	公明党	学校環境衛生活動について、県教育委員会では、どのように取り組んでいるのか伺いたい。	スポーツ振興課
32	職場環境・多忙化解消	外山 衛	自由民主党	教員の疲弊や負担増が問題となっているが、教員の時間外業務の現状について伺いたい。	教職員課
33	部活動	外山 衛	自由民主党	教員の負担軽減に向けた部活動の在り方について、国の方策を受けて本県ではどのように取り組んでいくのか伺いたい。	スポーツ振興課
34	不登校	日高 利夫	自由民主党	今回の臨時休業中に、不登校児童生徒に対して何か新たな支援ができたか伺いたい。	人権同和教育課
35	不登校	日高 利夫	自由民主党	今後、不登校児童生徒に対してオンラインによる学習支援はできないか、教育長の考えを伺いたい。	義務教育課
36	新型コロナウイルス感染症対策	来住 一人	日本共産党	全国一斉の臨時休業を求める「事務次官通知」を受けて、県教育委員会はどのように対応したのか伺いたい。	教育政策課
37	新型コロナウイルス感染症対策	来住 一人	日本共産党	一斉臨時休業について検証すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	教育政策課
38	新型コロナウイルス感染症対策	来住 一人	日本共産党	「新しい生活様式」を学校で実践することは不可能だと思うが、どのように対応しているのか伺いたい。	教育政策課
39	少人数学級	来住 一人	日本共産党	少人数学級の拡充を進めるためには、その気運を高めていく必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか、教育長の考えを伺いたい。	教職員課
40	オンライン学習	井本 英雄	自由民主党	教育現場において、オンライン学習が導入されるに当たって、求められる教員の役割について伺いたい。	高校教育課 義務教育課
41	学習評価	井本 英雄	自由民主党	新学習指導要領で提唱されている「主体的・対話的で深い学び」の学習評価は、どのようになされているのか伺いたい。	高校教育課 義務教育課
42	学習指導学習内容	井本 英雄	自由民主党	本県の「幸福度の高い都道府県ランキング」1位は、誇れるものであると考えるが、このことを授業の中に取り入れることはできないか伺いたい。	義務教育課

令和2年9月 定例県議会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年	期	答 弁	担当課
1	新型コロナウイルス感染症対策	学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は、どのようなものか伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>県教育委員会では、国から示されている「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」や本県で策定いたしました「宮崎県立学校における新しい生活様式」について、県立学校及び市町村教育委員会に周知いたしました。適切な対応を求めたところでありです。</p> <p>各学校では、これらのマニュアル等に基づきまして、登校前の検温や健康観察の徹底、場面に応じたマスクの着用や手洗いの励行、校内の消毒、室内の換気など、「うつらない」「うつさない」「うつさない」ための感染症対策に取り組んでいるところであります。</p>	スポーツ振興課
2	新型コロナウイルス感染症対策	罹患した児童生徒等が、治癒後、安心して学校に登校できるための取組について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>議員のお話にありまして、この新型コロナウイルスの感染者等に対する偏見、差別、こういったものは、いかなる場合においても、決して許されるものではないと私も考えております。</p> <p>県教育委員会では、新型コロナウイルス感染症に関するいじめ等を防止するため、児童生徒が適切に行動できるよう、発達段階に応じた指導を行うとともに、保護者に対しても同様の趣旨について周知を図るよう、県内全ての公立学校に、お願いしているところであります。</p> <p>また、罹患した児童生徒が安心して学校生活に居れるよう、支援にあたりますスクールカウンセラーを増員いたしました。相談体制を強化するなど、必要な対策を講じているところであります。</p> <p>今後、相談窓口の周知も図りながら、関係機関と連携し、いじめや偏見、差別的防止に向けた取組を的確に行ってまいります。</p>	人権同和教育課
3	国民スポーツ大会	国民スポーツ大会の開催時期が1年延期になった場合の選手強化への影響について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>現在、選手強化につきましては平成30年度に策定しました「宮崎県競技力向上基本計画」に基づきまして、また、昨年度の茨城国体の結果もよく踏まえまして、各施策等を推進しているところであります。</p> <p>大会の開催時期が1年延期となった場合、高校生以下の少年競技に参加する対象選手が、1学年繰り下がることとなりますが、選手強化を図る観点からは、十分、対応していけるものと考えております。</p> <p>いずれにいたしましても、天皇杯獲得という目標は変わりませんので、開催年に、各選手がベストな状態で大会に臨めるよう計画の見直し等も検討しながら、競技力向上にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。</p>	スポーツ振興課
4	国民スポーツ大会	未普及競技の選手育成の状況について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>未普及競技につきましては、各競技団体等が行います競技体験会や県の「ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」を通じてまして、選手の発掘に積極的に取り組んでいるところであります。</p> <p>また、今年度より中学校に部活動がない競技を対象に強化練習会やオリンピックの方などの講習会等を始めたところでありまして、各競技において、選手の育成・強化が進んでいくものと考えております。</p> <p>今後は、未普及競技においても毎年、国体で入賞する競技が増えていくよう関係団体等と連携しまして、小中高の継続した選手強化に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	スポーツ振興課
5	ICT活用	県内の市町村立小・中学校と県立学校について、ICT環境の整備は、今年度、どこまで進むのか伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>端末整備につきましては、令和4年度までに整備を図るとされておりました。お話にありましたGIGAスクール構想、この構想のスケジューリングが前倒しされ、現時点で、24市町村の小・中学校と全ての県立学校が、今年度までに、完了する予定となっております。</p> <p>また、残り2つの自治体も令和3年度までに整備が完了する予定となっております。</p> <p>また、校内通信ネットワークの高速度大容量化につきましては、24市町村の小・中学校と全ての県立学校が、今年度中に整備を終える予定であります。</p> <p>なお、県立高校におきましては、今回の端末や通信環境の整備に加えまして、全ての普通教室に壁掛けプロジェクタ等を導入するなど、教室内のICT環境の整備について積極的に進めることとさせていただきます。</p>	高校教育課 義務教育課
6	ICT活用	ICTを活用した教育を推進しているが、これを学力向上にどうつなげていくのか伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>学校教育において、ICTを効果的に活用することは、児童・生徒一人ひとりの能力や適性に合った学びを実現し、学力向上につながるものと考えております。</p> <p>ICTを授業に取り入れることによりまして、個人の能力に応じて、基本的な知識や技能を、これまで以上に効果的に身に付けさせることも、協働の学びにおいて、外部とオンラインでつながったり、多様なメディアを活用することで、思考力・判断力・表現力等の育成にもつなげていきたいと考えております。</p> <p>そのため、県教育委員会としては、教師がICTを活用した質の高い授業が実践できるように、ICT機器の操作の習熟はもとより、それらを実際の授業で効果的に活用するための授業研究や研修に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	高校教育課 義務教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期 間	担当課
7	修学旅行	今年度の市町村立小中学校及び県立高校における修学旅行の検討状況について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、各学校におきましては、行き先の選定にあたりまして、現地の感染状況や感染防止対策を十分に考慮しながら慎重に選定、検討を行っている状況であります。本年度、修学旅行を予定している215校のうち、148校が県内で決定しておりまして、65校が県内を含めて行き先を検討している状況であります。また、中学校におきましては、本年度、修学旅行を予定しております100校のうち、9校が県内で決定しておりまして、37校が県内を含めて行き先を検討している状況でございます。</p> <p>県立高等学校につきましては、海外を予定していたすべての学校が、行き先を県内に変更しておりまして、現在、行き先や実施方法等を検討している状況でございます。</p>
8	修学旅行	市町村立小中学校の県内修学旅行の実施にあたって、県教育委員会の取組について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>県教育委員会では、本年度の修学旅行の実施にあたりまして、例年とおりの実施が難しいことから県内修学旅行も検討材料の一つとするよう6月に全市町村教育委員会及び小・中学校に文書で呼びかけたところであります。</p> <p>また、県内修学旅行を後押しする事業について商工観光労働部と連携して構築するとともに、新たなプログラムの開拓に向け、例えば、航空大学校や風力発電所、細島港の港湾施設など、県内各地を訪問いたしました。修学旅行の受け入れをお願いしてきたところでもあります。</p> <p>県教育委員会としては、今後も引き続き、見学先や体験先等の情報を取りまとめまして市町村や学校に随時提供してまいりたいと考えております。</p>
9	修学旅行	県外で修学旅行を実施した場合、実施後の県内の新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ必要があると思うが、その対応についての考えを伺いたい。	二見 康之	自由民主党	2	9	<p>修学旅行につきましては、日本旅行業協会が示しております「国内修学旅行の手引き」を参考にするよう文部科学省から求められておりまして、修学旅行を実施する場合、この手引きを踏まえて旅行中の感染防止対策を徹底するとともに旅行関係業者に対しても遵守することを求める必要があると考えております。</p> <p>しかしながら、議員御指摘のとおり、感染リスクはゼロにはならないことから、旅行実施後は、参加した児童生徒や引率教員、さらには、その同居家族等も含めた健康状態の経過観察を一定期間行うなど、感染拡大を防ぐ観点から適切な対応を行う必要があるものと考えております。</p>
10	安全	交通事故を減らすためには幼少期からの啓発が必要だと思っが、教育長の考えを伺いたい。	山下 博三	自由民主党	2	9	<p>お話にありまして、横断歩道の手前で止まっていたり、横断歩道に対して感謝の気持ちを表すこの子どもたちの行動、大変、素晴らしいことだと感じます。</p> <p>同時に、交通事故を減らすためには、幼少期から社会的スキルと安全に関する能力を身につける継続的な安全教育に取り組むことが、重要であると考えております。</p> <p>現在、県内各学校におきましては、小学校入学時に行う登下校の指導をはじめ交通安全協会などに依頼して実施しております。交通安全教室などにより、交通ルールを身につけさせるとともに危険を予測・回避する能力の育成に取り組んでおります。県教育委員会としては、今後とも市町村教育委員会や県警などの関係機関としっかりと連携を図りながら、児童生徒の交通安全の意識を高めるための取組を行ってまいります。</p>
11	入試	新型コロナウイルス感染症による学校休業期間を受け、県は今年度実施する県立高校入試の出題範囲を検討することによって、あつたが、結論の見通しはどうか伺いたい。	渡辺 創	県民連合会	2	9	<p>今年度実施します県立高校入試の出題範囲につきましては、各中学校の学校休業による学習進度への影響について7月末までに調査を実施しまして、科目ごと集約分析を行いまして現在検討を進めているところであります。</p> <p>県教育委員会としては、今月下旬を目途に出題範囲を告示してまいりたいと考えております。</p>
12	特別支援：通学	県中部から聴覚障がい特別支援学校に通学する子供の人数は、通えない子供にどのような支援や対応を実施しているか伺いたい。	渡辺 創	県民連合会	2	9	<p>本県の聴覚障がい特別支援学校は、都城さくら聴覚支援学校と延岡しろやま支援学校の2校であります。</p> <p>県中部から通学している子供の人数は、都城さくら聴覚支援学校は9名、延岡しろやま支援学校は在籍しておりません。</p> <p>聴覚障がい教育の必要があり、県中部から聴覚障がい特別支援学校に通学することが難しい児童生徒は、各小・中学校に在籍し、地域で学びながら聴覚障がい特別支援学校における通級による指導を受けております。</p> <p>また、聴覚障がい特別支援学校の教育相談を随時受けられるようしております。</p>

令和2年9月 定例県議会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年	期	答 弁	担当課
13	特別支援	県央部における聴覚障がいに対応する特別支援学校の必要性と課題をどのように考えているか伺いたい。	渡辺 創	県民連合宮崎	2	9	<p>県教育委員会では、県央部における聴覚障がい教育の充実を図る観点から、0歳児から5歳児までを対象とした聴覚障がいの乳幼児教育相談室を、平成31年4月に明星視覚支援学校内に開設したところであります。</p> <p>仮に県央部にも聴覚障がい特別支援学校を設置する場合は、通学や、送迎にかかる負担の軽減を図られますが、一方、各聴覚障がい特別支援学校に在籍する子供が少人数になりますので、集団学習や手話による自発的なコミュニケーション学習が難しくなるという課題もあるものと考えております。</p>	特別支援教育課
14	定時制・通信制	定時制高校には、新型コロナウイルス感染症により就労環境が悪化した生徒も少なくないと考えますが、状況をどのように認識しているか伺いたい。	渡辺 創	県民連合宮崎	2	9	<p>9月1日現在の状況でございますけれども、定時制高校に在籍する512名の生徒のうち、アルバイトを含め、就労している生徒は全体の43%にあたります220名となっております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による就労環境の変化等について、各学校で調査を実施しましたところ、重複回答となっておりますが、企業から雇い止めになった生徒が20名、休業を余儀なくされた生徒が25名でありました。</p> <p>なお、就労環境の悪化等、経済的理由で退学・休学した生徒がいるとの報告は受けておりません。</p>	高校教育課
15	定時制・通信制	熊本県では独自に支援策に取り組むようだが、本県における支援策の必要性について伺いたい。	渡辺 創	県民連合宮崎	2	9	<p>お話しにありましたように新型コロナウイルス感染症の影響により、生活面に悩みを抱える就労生徒に対しては、いろいろな支援が必要であろうというふうに考えております。</p> <p>各学校におきましては、担任と教育相談部を中心に、各生徒の生活状況に十分に配慮しながら生活面の相談に対応しているところであります。</p> <p>また、今年度からは、生徒相談支援業務の一部を民間業者に委託しまして、各学校に対しまして、幅広い有効になるような情報を迅速に提供できるようにしたところであります。</p> <p>今後とも、各学校や関係機関との連携を図り、生徒に寄り添った支援を行ってまいりたいと考えております。</p>	高校教育課
16	外部人材活用	学校教育における、社会保険労務士の活用の可能性について伺いたい。	河野 哲也	公明党	2	9	<p>中学校や高校において雇用や労働、社会保障を学ぶ際に、労務関係等の専門家である社会保険労務士を活用することは、学習面だけでなく、キャリア教育の観点からも、意義あるものと考えております。</p> <p>学校教育における外部人材の活用につきましては、現在、各学校において、学習分野の内容に際して積極的に進められており、県教育委員会といたしましては、今後、社会保険労務士を含め、多様な専門家や関係機関などの活用について、各学校へ情報提供してまいりたいと考えております。</p>	高校教育課
17	新型コロナウイルス感染症対策	市町村立小中学校及び県立学校の夏休みの短縮の状況について伺いたい。	河野 哲也	公明党	2	9	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う学習の遅れの手立ての1つとして、夏休みの短縮等を行ってきたところでございますが、お尋ねの、この夏休みの短縮の日数につきましては、市町村立小中学校では、全体平均で8日程度でありまして、最も長かった自治体が17日となっております。</p> <p>また、7つの自治体が短縮を行っていない状況でございます。</p> <p>県立学校では、全体平均で8日程度でございますが、最も長かった学校、これは定時制の学校になりますが、20日となっております。</p> <p>また、5校が短縮を行っていない状況でございます。</p>	高校教育課 義務教育課 特別支援教育課
18	新型コロナウイルス感染症対策	例年とは異なる夏休み明けにおいて、子どもが安心・安全な生活を送るために、学校ではどのような配慮が行われているか伺いたい。	河野 哲也	公明党	2	9	<p>お話しにありましたように今年の夏休みは、新型コロナウイルスの影響によりまして、期間の短縮、あるいは生活の制限など、例年とは異なるものとなりまして、夏休み明けの子どもたちの様子が大変心配されたところがございます。</p> <p>このように中、各学校におきましては、「学校の新しい生活様式」に基づき、感染予防対策を行うとともに、子どもたちの様子を細やかに観察し、必要に応じて心のケアを行うなど、子どもたちが安心・安全な生活を送ることができるよう、さまざまな配慮を行っているところであります。</p> <p>また、学校生活の充実のために、例えば、体育大会、運動会でございますけれどもそういった子どもたちが楽しみにしている学校行事についても、中止することなく工夫して実施するなど、子どもたちが満足感を得られるような、配慮を行っているところでございます。</p>	義務教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期	答 弁	担当課
19	特別支援	特別支援学級担任及び通常の学級担任の臨時任用講師の割合について伺いたい。また、特別支援学級を担任している臨時任用講師の特別支援学校教諭免許状の保有率について伺いたい。	岩切 達哉	県民連合 宮崎	2	9	本年度の小中学校における特別支援学級の担任及び通常の学級担任の臨時任用講師の比率は、特別支援学級は32.7%、通常の学級が10.5%となっております。各学校におきましては、特別支援学級担任の講師を任用する場合、できる限り、当該免許状を有する人材の確保に努めているところでございますが、講師の当該免許状の保有率は、30.5%となっております。県教育委員会としては、昨年度の教員採用試験から小中学校に特別支援採用枠を新設し、本年度実施の採用試験から特別支援学級教諭免許状を有する者について加点したりするなど、専門性の高い教員の人材確保に向け、積極的に取り組み始めたところであります。	教職員課
20	特別支援	特別支援教育コーディネーターなどの配置による特別支援学級への支援について伺いたい。	岩切 達哉	県民連合 宮崎	2	9	特別支援教育に関しては、まず、各学校で校長が特別支援教育コーディネーターを指名しまして校内支援体制の充実を図っております。しかしながら、より高い専門性を必要とする事例も多いことから特別支援学校に、豊富な知識と経験を有したチャーターコーディネーターを配置して、小・中学校を中心に、計画的に派遣し、助言を行っているところであります。さらに、県内7つのエリアに設置しました小・中学校の拠点校にも専門性を有するエリアコーディネーターを配置いたしました。特別支援学級担任を対象とした研修を実施しているところでございます。これらの取組によりまして、特性に合わせたきめ細かな児童生徒への指導や、保護者や関係機関との連携など、指導力及び専門性の向上を図っているところでございます。	特別支援教育課
21	障がい者雇用	県教育委員会における法定雇用率の達成に向けた障がい者雇用の取組について伺いたい。	岩切 達哉	県民連合 宮崎	2	9	障がい者雇用率については、令和元年から算定の対象範囲が拡大され制度改正が行われ、臨時職員等も対象となったことから、法定雇用率を下回る状況となり、今年の雇用率は、現時点で国へ報告している速報値ではありますけれども、2.19%となっております。県教育委員会では、これまで教員採用試験において、全ての職種で障がいのある者を対象とした特別選考を行い、また、平成26年度からは、実習助手・奇徳舎指導員の採用試験においても、特別採用枠を設け、障がい者雇用に努めているところであります。今後は、これらの取組に加え、先進県の事例等も参考にしながら、障がいのある方が活躍できる雇用の創出など新たな検討を進め、取り組んでまいりたいと考えております。	教職員課
22	オンライン学習	コロナでの休校中において、本県の小中学校でのオンライン指導はどのような状況であったのか。また、家庭ではどのような状況が見られたのか伺いたい。	右松 隆央	自由民主党	2	9	臨時休業中における同時双方向によるオンライン学習につきましては、県内市町村においては、これまでICT機器の整備が、十分に進んでいなかったことから、西米良村を除いて、ほとんどの市町村が実現できていない状況にありました。それに対し、保護者や学校からは、「テレビで報道されているようなオンライン学習を行ってほしい。」「オンライン学習が実施できる環境を整えてほしい。」といった意見を求める意見や「自分のペースで学習ができる動画の配信等を増やしてほしい。」といった意見が市町村教育委員会に寄せられたところでもあります。県教育委員会としては、このような状況を受け、オンライン学習の必要性について認識を深め、今後は、その実施方法等の研究を深め、取組の充実につかりと努めてまいりたいと考えております。	義務教育課
23	GIGAスクール構想	GIGAスクール構想に基づき、小中高等学校においてタブレット端末をどのような計画で整備し、また、家庭でのネット環境が十分でない児童生徒にはどのような対応をしていくのか伺いたい。	右松 隆央	自由民主党	2	9	まず、端末につきましても、お話がありましたように、GIGAスクール構想の、市町村において1人に1台、高等学校において3人に1台の目標値のもと、加速度的に整備が進んでおりまして、8月時点の調査によりまして、公立小・中学校においては、本年度末までに目標値の約99%が整備され、残りの分も、令和3年度末までに整備される見込みであります。高等学校におきましては、本年度末までに、整備が完了する予定となっております。次に、家庭でのネット環境が十分でない児童生徒に対する対応であります。県教育委員会では、ルータを家庭へ貸出している市町村もあります。また、高等学校では、生活保護世帯及び非課税世帯を対象に通信費について支援を行っているところであります。今後におきましても、このような事態が起こること十分考えられますので、全ての子供の学びを止めないために家庭の通信環境の確保に向けた取り組みを講じていただくよう、国に要望するとともに、高等学校におきましては、万一、新型コロナウイルス等で休業となった際にも、学校を開放し、端末等を利用していただけるように、今後とも環境整備を進めてまいりたいと考えております。	義務教育課

令和2年9月 定例県議会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

No	キーワード	問 い	議員名	所 属	年	期	答 弁	担当課
24	GIGA スクール構想	Society5.0に向けた人材育成が重要な中、未来型教育を実践していくために、クラウド活用やビッグデータの分析などA Iを活用した児童生徒の「個別最適化学習」に今後どのように取り組んでいく考えであるか伺いたい。	右松 隆央	自由民主党	2	9	Society5.0と言われる新時代の到来を捉え、これからの時代に必要となる基礎的読解力や情報活用能力などを児童生徒に身に付けさせることが、学校に求められていると考えております。 また、議員ご指摘のとおり、教育用A Iの発達、普及に伴い、インターネットのクラウド上に集められました児童生徒の一人一人の学習履歴や学習到達度などのビッグデータをA Iが解析し、個々の習熟に応じた復習問題の提供を行うなど、先端技術が、子どもの学びの質や教員の指導法を交えていくことも考えられます。 国は、このような未来型教育の実現が可能なGIGAスクール構想の実現に向けて、積極的にICT機器の整備を進めるとともに、企業や研究機関等と連携しながらデータを基にした理解度分析が可能な教育用A Iなどの開発を進めているところであります。 県教育委員会としては、未来型教育に向けた国の動向をしっかりと把握し、冒頭述べました、これからの時代に必要となる資質・能力や学力の向上を目指し、個別最適化学習の研究の進め方について検討してまいりたいと考えております。	義務教育課
25	神楽のユネスコ無形文化遺産登録	神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向け、現状と今後の取組について伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	2	9	神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けましては、九州にある10の国指定神楽により「九州の神楽ネットワーク協議会」を組織いたしまして、国へ要望書を提出するなどの活動を行ってきております。 こうした取組は、全国の神楽関係者にも高く評価されているところであります。 今後は、ユネスコの提案に関する国の方針を踏まえまして、全国38の国指定神楽でまとまって登録を目指す必要があるものと考えておりますので、九州以外の保存団体へ呼びかけを行い、神楽公演や国への働きかけに連携して取り組んでいくことと考えております。 ユネスコ無形文化遺産については、近年、ユネスコの審査が実質、2年に1件となっておりまして、早通しが立ちにくい状況にはありますが、神楽の保存・継承という大きな目的のもと、登録実現に向けて一層の取組を進めてまいります。	文化財課
26	県内就職	新型コロナウイルス感染症の拡大により、高校生の県内就職活動は、どのようないろいろな影響を受けているのか伺いたい。	窪田 辰也	自由民主党	2	9	新型コロナウイルス感染症の拡大により、本年度の高校生の就職試験の開始日は、例年より1か月遅い10月16日以降となりましたことから、各学校では、現在、ようやく三者面談や校内での就職選考会が本格化してきた状況であります。 また、本年度の県内新規卒業者の求人数につきましては、就職試験開始日の違いもありまして、単純比較はできませんが、宮崎労働局の調査では、7月末時点で前年度比約2割の減少となっておりますことから、高校生の就職活動に少なからず影響が出てくるのではないかと心配しているところでございます。	高校教育課
27	新型コロナウイルス感染症対策	高校総体等の代替大会において、新型コロナウイルス感染症対策にどのような取組んだのか伺いたい。	窪田 辰也	自由民主党	2	9	「特別スポーツ大会2020」でございますが、開催に当たりまして、感染症防止対策は大変重要でございます。 選手や役員などに対しまして、大会前からの健康観察や、また、大会当日のサーモグラフィ等を使った検温を実施いたしまして、健康状態の把握に努めたところであります。 また、競技で使います道具やベンチ等の消毒、また、屋内競技における試合間の換気等の対策を行ったところでございます。 さらに、応援につきましては、原則、部員とその保護者に限定させていただきます。事前に名簿を提出いただくなど参加者の把握に努めるとともに、座席の間隔を空けるなど密を避ける対策を講じたところであります。 今後、開催される大会につきましても、引き続き感染症防止対策を徹底いたしまして、安心安全な大会運営に努めてまいりたいと考えております。	スポーツ振興課
28	特別支援	通常の学級で発達障がいのある子どもを指導する教員に対して、どのような支援を行っているか伺いたい。	日高 陽一	自由民主党	2	9	発達障がいのある子供への指導については、全ての教員が、一定の知識・技能を身に付ける必要があるものと考えております。 そこで、県教育委員会といたしましては、県内7つのエリアの拠点校に配置しております。エリアコーディネーターが中心となり、通常の学級担任を対象として発達障がいのある子供の理解や指導の在り方などについての研修会を行っているところであります。 また、校内で対応が難しい場合には、エリアコーディネーターや拠点となる中学校で発達障がいのある子供の指導に当たっております。エリアメンターを当該学校へ派遣し、必要に応じて福祉等の関係者とも連携しながら専門的な助言を行っております。さらに、特に手厚い支援が必要な子供が在籍している場合には、その学校に特別支援教育支援員が配置されているところであります。	特別支援教育課

令和2年9月 定例県議会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

No	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 数	期 限	答 弁	担当課
29	県内就職	高校生の県内就職の促進に向けた取組について伺いたい。	重松 幸次郎	公明 党	2	9	県教育委員会が行っております県内就職促進の取組ですが、現在、就職支援エリリアコーナーを県内6地区に配置しまして、生徒への県内企業の情報提供や、企業への求人依頼を行ってきたところであります。また、県内企業見学会や関係機関と連携したジュニアワークフェアの開催の取組などによりまして、県内就職率は徐々に上昇してきております。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も懸念されますので、私自身、県内経済関係団体を訪問いたしまして、就職や採用への特段の配慮を依頼することにも、先日、県内企業を訪問いたしまして、継続的な採用のお願いをしているところでもあります。今後、関係機関と連携しまして、県内就職の促進に向けて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。	高校教育課
30	スポーツ振興・競技力向上	ドーピング防止に向けて、県教育委員会では、どのような取組を行っているのか伺いたい。	重松 幸次郎	公明 党	2	9	県教育委員会では、県スポーツ協会と連携し、医師、薬剤師、栄養士等を委員とした「スポーツ医・科学委員会」を設置しております。専門的知見からの選手育成・強化に取り組んでおります。その中で、ドーピング防止につきましては団体に出場する選手や指導者を対象に研修会を開催しまして、スポーツドクターによる講義や薬剤師による薬物に関する相談会を行っております。また、選手が大会前に提出する問診票で、服薬している薬等を報告し、薬剤師が禁止薬物のチェックを行うなど、「うっかりドーピング」を含めたドーピング防止に努めているところであります。	スポーツ振興課
31	学校環境衛生活動	学校環境衛生活動について、県教育委員会では、どのような取組を行っているのか伺いたい。	重松 幸次郎	公明 党	2	9	児童生徒の健康の保持増進や学習効率の向上を図るためには、健康的で快適な学習環境が必要でありまして、それを維持するための検査や事後措置等の学校環境衛生活動は、大変重要であります。県教育委員会では、各県立学校の学校薬剤師が行います水質や照度、空気等の定期及び臨時検査の費用を負担しますとともに、県薬剤師会が契約・分析しました検査結果に基づきまして、環境の維持・改善に努めているところであります。今後、県薬剤師会と連携しながら、学校環境衛生活動が適正に実施されるために、必要な措置を講じ、学校の適切な環境の維持に努めてまいりたいと考えております。	スポーツ振興課
32	職場環境・多忙化解消	教員の疲弊や負担増が問題となっているが、教員の時間外業務の現状について伺いたい。	外山 衛	自由 民主 党	2	9	教員の時間外業務についてであります。昨年10月に実施しました調査におきまして、国が勤務時間の上限の指針として示しております月当たり45時間を超えている教諭等の割合は、小学校で約3割、中学校・高等学校で約6割、特別支援学校で約2割でありました。また、時間外に行っている主な業務としては、小学校・特別支援学校では授業の準備に、中学校・高等学校では部活動に多くの時間を費やしている傾向が見られました。県教育委員会としては、教員の業務改善のため、「校務支援システム」の導入をはじめ、小中学校におけるモデル地域の指定や、県立学校においてプロジェクトチームを立ち上げるなど、学校における働き方改革をより効果的に推進するための取組を行っているところであります。	教職員課
33	部活動	教員の負担軽減に向けた部活動の在り方について、国の方策を受けて本県ではどのように取り組んでいくのか伺いたい。	外山 衛	自由 民主 党	2	9	県教育委員会では、一昨年、平成30年に部活動に関する方針を策定しまして、適切な休養日等の設定や部活動指導員の配置等、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について取り組んでいるところであります。そのような中、お話しにありましたように、先日、文部科学省から、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域へ移行することが具体的な方策の一つとして示されました。県教育委員会としては、新たに、部活動の在り方に関する検討委員会を開催しまして、生徒にとって望ましい部活動の環境の構築と教員の負担軽減を図るため、これまで取り組んできた地域との連携や人材確保等の課題に加え、休日の部活動の指導体制についても検討を行って参りたいと考えております。	スポーツ振興課
34	不登校	今回の臨時休業中に、不登校児童生徒に対して何か新たな支援ができたか伺いたい。	日高 利夫	自由 民主 党	2	9	各学校における臨時休業中の不登校児童生徒への学習支援としては、他の児童生徒と同様に、教員が電話により学習状況を把握することにも、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を把握しながら可能な範囲で家庭訪問を行うなど、学習の遅れが生じないよう、対応に努めたところであります。	人権同和教育課

令和2年9月 定例県議会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

No	キーワード	問 い	議員名	所 属	年	期	担当課
35	不登校	今後、不登校児童生徒に対してオンラインによる学習支援はできないか、教育長の考えを伺いたい。	日高 利夫	自由民主党	2	9	義務教育課
36	新型コロナウイルス感染症対策	全国一斉の臨時休業を求める「事務次官通知」を受けて、県教育委員会はどのように対応したのか伺いたい。	来住 一人	日本共産党	2	9	教育政策課
37	新型コロナウイルス感染症対策	一斉臨時休業について検証すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	来住 一人	日本共産党	2	9	教育政策課
38	新型コロナウイルス感染症対策	「新しい生活様式」を学校で実践することは不可能だと思うが、どのように対応しているのか伺いたい。	来住 一人	日本共産党	2	9	教育政策課
39	少人数学級	少人数学級の拡充を進めるためには、その気運を高めていく必要があると考えるが、どのように取り組みっていくのか、教育長の考えを伺いたい。	来住 一人	日本共産党	2	9	教職員課
40	オンライン学習	教育現場において、オンライン学習が導入されるに当たって、求められる教員の役割について伺いたい。	井本 英雄	自由民主党	2	9	高校教育課 義務教育課

お話がありまじょうに、オンラインによる学習支援は、動画視聴や課題の選択など、自分のペースに合わせた学習などが可能であり、不登校児童生徒の学びの保障にもつながるものと考えております。

一方で、実施に当たっては、動画作成・編集など、通常の授業とは別の準備が必要となることに加え、家庭における児童生徒の置かれた環境や操作技能などの課題も挙げられるところであり、今後これらの課題解決に向けて取り組むとともに、学校以外の教育施設での支援も含めまして、不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援の方策について、研究を進めてまいりたいと考えております。

県教育委員会では、全国一斉の臨時休業を要請する「文部科学省事務次官通知」を受けて知事と協議の上、学校保健安全法に基づき総合的に検討した結果、感染拡大の防止と子供たちの健康・安全を第一に考え、県立学校については県内一斉の臨時休業を実施することとしたところであります。

同時に、各市町村教育委員会に対しても、この県立学校の対応方針についての情報提供を行ったところであります。

3月の一斉休業につきましては、先ほど申し上げたとおり、新型コロナウイルスの感染拡大防止と子供たちの健康・安全を第一に考え実施したところであります。

その後におきましても、緊急事態宣言の全国拡大に伴う4月から5月にかけての臨時休業や、本県における7月中旬からの事実上の第2波など、新型コロナウイルスの学校生活への影響については、依然として継続しております。

このため、現時点では、感染拡大防止の取組を徹底した上で、児童生徒の学びの保障のための対策を一層しっかりと進めていくことが重要であると考え、態勢に取り組みたいと考えております。

学校におきましては、文部科学省が示しております、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」や、県教育委員会で作成しました「県立学校における新しい生活様式」を参考に、感染症予防対策を行っているところであります。

このマニュアルには、感染者の発生が散発的な地域であれば、学級内で1mを目安に児童生徒同士の間隔をとることや、感染者が急増している地域であれば、例えば、近距離で行う室内の合唱といった感染リスクが高い学習活動を行わないなど、感染状況や学校の実態に応じて細かく具体例が示されており、その内容も随時改訂されているところであります。

今後とも、新型コロナウイルスの感染防止に取り組みながら、授業や部活動、各種行事等の教育活動を工夫いたしまして、継続して子供の学びの保障に努めてまいりたいと考えております。

少人数学級の拡充につきましては、私どももその必要性を十分に認識しておりまして、これまでも国に対し、教員の定数改善を要望するとともに、本県におきましては、小学校1・2年生で30人学級、中学校1年生で35人学級を導入しており、さらに、本年度はモデル校を指定しまして、小学校3・4年生で、35人学級の取り組みを行っているところであります。

今般の新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、教育関係者をはじめとしまして、少人数学級を求める社会的な要望も広がってきておりまして、国においても、少人数指導に向けた方向性が、例えば、今年の「骨太の方針2020」においても示されたところでありまして、県教育委員会といたしましては、これまでの取り組みの成果を確認しながら、今後とも教員の定数改善などの必要な措置について、国に対し粘り強く要望してまいりたいと考えております。

オンライン学習が導入されることにより生徒個人の能力に応じた学習内容を提供したり、外部の専門家と映像で結んだりするなど、さらに多様な学習を展開することができるものと考えております。

そのためには、教員は、オンライン学習において、情報機器の利用についてのサポートを行うだけでなく、効果的・効率的に学習の深化、深い理解を図るために、これまで以上に生徒の実態等に応じた学習内容の理解や定着に向けてきめ細かな支援を行うことが必要となります。また、多様な学習を展開するために幅広く情報収集し、外部の人材や様々な学習教材等を調整して活用していく役割も重要となると考えております。

令和2年9月 定例県議会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課
41	学習評価	新学習指導要領で提唱されている「主体的・対話的で深い学び」の学習評価は、どのようになされているのか伺いたい。	井本 英雄	自由民主党	2 9	<p>「主体的・対話的で深い学び」の授業実践では、単に「知識・技能」を習得するだけでなく、ほかの学習との関連づけや日常生活での活用もできる「思考力・判断力・表現力」等の育成も目指しております。</p> <p>そのため、学習評価も、ルーブリックのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合いなどの多様な活動に対応して、「ルーブリック」と呼ばれる評価基準などを用い、到達目標における児童・生徒一人ひとりの到達度をはかる多角的・多面的な評価の実施に向けて取り組んでいるところであります。</p>	<p>高校教育課 義務教育課</p>
42	学習指導 学習内容	本県の「幸福度の高い都道府県ランキング」1位は、誇れるものであると考えますが、このことを授業の中に取り入れることはできないか伺いたい。	井本 英雄	自由民主党	2 9	<p>講義ご指摘のとおり、本県が2年連続、幸福度ランキング全国1位であることは、県民として誇れるものであると思っております。</p> <p>幸福度の他にも、本県には、「優しい人の多さ自慢」であるとか、「将来の夢や目標を持っている小学生」など、全国ランキング上位の指標がたくさんあります。</p> <p>それらを総じて、「ゆたかさ指標」として、県としてまとめたいと考えています。</p> <p>学校におきましては、本年度から「ゆたかさ指標」を掲載した社会科副読本、これを小学校4年生に配付しまして、授業で活用するとともに、高千穂町上野小学校であるとか、あるいは飯野高校では、この指標を通して、本県のよさを考える公開授業を計画しております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、関係部局と連携を図りながら本県の誇るべき幸福度の高さや豊かさや豊かさを実感できる取組について、さらに広げてまいりたいと考えております。</p>	<p>義務教育課</p>